



発行 No. 第141号
 発行日 令和4年1月1日
 発行人 川浪 廣次
 発行所 公益社団法人 福島市
 シルバー人材センター
 福島市東浜町11-40
 電話(024)531-2511
 ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/fukushima/>



写真：清野善男（撮影地：福島市 高倉山）、字：毛筆班副班長 丹治豊三



年頭にあたって

理事長
川浪 廣次

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えできたこととお慶び申し上げます。

昨年は、コロナ感染症拡大の影響で、事業の縮小や各種イベントの中止等で事業運営が大変厳しい状況となりましたが、福島市や関係機関のご理解とご支援そして皆様のご協力で新規事業の拡大を図ることができました。

コロナ感染者の減少傾向が見られますが、第6

波が心配される場所ですので、引き続き新しい生活様式を実践し感染防止に努めながら、共に皆様が永年培ってきた豊富な知識、経験、技能を活かし、働き続けることができる事業推進と地域社会からの多様な期待に応えるため、新たな就業の提供と会員の増強そして人材確保に努め、地域からも愛され信頼されるセンターをめざして参ります。

人生100年時代の長い高齢期を、生きがいをもって過ごすことにより健康寿命が延びると言われております。会員の皆様が、今年も仕事や趣味を通して会員同士のふれあいと地域社会との関わりを持ち、いつまでも健康で生きがいをもって過ごすことができますよう役職員一同、会員の皆様の安全と安心そして会員でよかったと感じてもらえる魅力のあるセンターをめざして参りますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

福島市長
木幡 浩

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から市政全般にわたり特段のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年はワクチン接種をはじめ新型コロナ対策を最優先としながらも、7月には、東京 2020 オリンピック大会の野球・ソフトボール競技が本市で開催され、「福島の桃」の魅力が選手を通じて世界へ発信されるなど、明るい話題も数多くございました。

2 期目となります今年、引き続き新型コロナ対

策を最優先とし、コロナを越えて希望の未来をひらくため、4つの柱で各種施策を推進してまいります。その一つ「未来に向け暮らしと環境を守る」として、高齢者の元気づくり機会の拡充に向け、今般のコロナ禍を契機としたICTの活用や、働くことを通じた社会参加と活力ある地域社会づくりに向けた取り組みなどを進めてまいります。

このような中、貴センターには、高齢者の皆様が長年培ってきた技能や豊かな知識・経験を生かしながら雇用の安定を図り、やりがいや生きがいを創出し、ひいては健康寿命を延ばす大切な役割を担っていただいております。会員の皆様には今後とも健康に留意されながら、いきいきと地域社会の中心として活躍されますことを心よりご期待申し上げます。

結びに、貴センターが「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、一層の飛躍を遂げられますとともに、会員の皆様にとりましても、本年が希望に満ち、健康で幸多き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

市への要望活動 (令和3年9月30日 於:福島市役所)

センター事業推進のために必要な補助金と、市からの公共事業発注の確保・拡大についての要望書を、川浪理事長が木幡浩市長と真田広志市議会議長に提出しました。

市長からはセンターに対し、ICTの活用をはじめ、進化する就業内容に対応できる体制を求められました。センターでは今後、ICT関連の研修会等を開催していく予定ですので、その際はぜひご参加ください。



令和3・4年度安全標語表彰授与式

(令和3年11月19日 於:シルバー人材センター多目的ホール)

安全標語表彰授与式は、3月開催の「安全就業研修会」で実施する予定でしたが、研修会中止に伴い、センターで実施しました。

12名、38作品の応募の中から選ばれた最優秀、優秀、佳作は以下のとおりです。最優秀の標語はセンター入口に掲示してあります。

令和4年は事故ゼロを目指しましょう！

< 受賞作品 >

最優秀「注意して 皆んなで声かけ 無くす事故」
(庭坂A班 梅津 彪 様)

優 秀「事故無しを 声かけ 気づかい 思いやり」
(渡利D1班 伊東 志津枝 様)

佳 作「自己過信 その思い込みが 危機招く」
(蓬萊C班 佐久間 昌夫 様)

佳 作「安全を 皆んなで守る 心がけ」
(岡山B班 井浦 幸子 様)



< 受賞者 >

写真前列左から
梅津 彪さん、伊東志津枝さん、
佐久間昌夫さん、井浦幸子さん

会員の「声」

このコーナーでは会員の皆さまの「声」をお届けしております。就業現場を訪問したり、趣味や特技をお聞きしたりと多くの会員の皆さまに登場していただきます。

ももりんシェアサイクル整備業務



ももりんシェアサイクルリーダー
渡辺 満雄 さん

ももりんシェアサイクルは福島市が実施主体で、ecobike 株式会社様が運営事業者となり、当センターでその一部である整備業務委託を請けました。令和3年4月より始まった新たな業務で、3名の会員で活動しています。

シェアサイクルの主な業務について紹介いたします。

電動アシスト付き自転車 50 台が 12 箇所サイクルポートに分散し配置されており、12 箇所ならどこへでも返却が可能のため、自転車が偏らないように移動させる「再配置」や、電動自転車の「バッテリー交換」を主にやっております。また、自転車の拭き上げやポート内のごみ拾い、パンフレット補充などを行うため、時間が足りないほどです。

業務開始から携わり、12月からはリーダーとして務めさせていただいておりますが、常に心掛けていることがあります。それは、「お客様が喜んで回遊できるよう、点検のミスを起こさないこと」と「業務中の事故防止」です。これからも仲間同士力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

自転車再生事業

当センターの自転車再生事業は歴史が古く、昭和56年から続いています。

今年の再生自転車抽選頒布会は、10月20日から11月10日まで展示期間を設け、25台の当選枠に169名の応募がありました。11月12日に第三者立会のもと抽選会が行われ、大盛況の内に幕を閉じました。

今回は頒布会を陰で支えていただいた自転車再生事業に従事する2名の会員にお話を伺いました。



伊藤 彰三 さん

「大切にってもらえるように一台ずつ丁寧な作業を心がけています。」



赤沼 正幸 さん

「自分が乗りたい自転車をイメージし、出来るだけ綺麗に仕上げるようにしています。」

刃物研ぎ

渡部 昇二 さん

「一回の切れ味よりも長持ちするような一丁にするべく、特に先の部分の仕上げを入念にしています。」



刃物研ぎは、例年開催している「シルバーまつり」で人気のコーナーの一つです。コロナ禍によるまつり中止に伴い、昨年度から一日限りの特別価格で刃物研ぎ受付会を開催しています。

今年度は11月6日(土)に開催し、63名の方から132丁の包丁等をお預かりし、大いに賑わいました。

刃物研ぎに従事し、当日は受付のお手伝いをしていただいた会員の渡部さんに刃物研ぎのこだわりを伺いました。

センターでは常時刃物研ぎを受付していますのでぜひご利用ください。



福島市シルバー人材センター安全標語「注意して 皆んなで声かけ 無くす事故」

事務局からのお知らせ

配分金収入に対する所得税の取扱いについて

配分金は、税法上「雑所得」として扱われます。55万円以上の配分金収入のある方は確定申告が必要です。

○公的年金を受給している方は、配分金収入とは別に公的年金等控除が受けられます。

○給与所得がある方は、給与所得控除が受けられます。

不明なことがありましたら、事務局か税務署にお問い合わせください。

安全就業研修会中止について

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止と、皆様の健康を第一に考え、まことに残念ではありますが、今年も安全就業研修会を中止といたします。



配分金支払日

12月分▶ 1月31日(月)

1月分▶ 2月28日(月)

2月分▶ 3月31日(木)

3月分▶ 4月28日(木)

※配分金明細書をご希望の方は事務局に声をかけてください。

地区会議

今年度は以下の日程で地区会議を開催いたしますので、ご出席ください

日にち	午前(9:30)	午後(13:30)
1月12日(水)	松川地区	2地区
14日(金)	飯野地区	東地区
18日(火)	北1地区	飯坂地区
20日(木)	北2地区	西2地区
24日(月)	西1地区	—
26日(水)	1地区	蓬萊地区
2月9日(水)	—	南地区

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

加藤 勇 様 (84歳) 佐 倉
 舟山千鶴子 様 (77歳) 森合B
 小関 均 様 (74歳) 渡利D1
 佐藤 静子 様 (84歳) 杉妻B

入会説明会

下記日程で入会説明会を開催予定です。毎月第2火曜日 午後1時30分開会

1月11日、2月8日、3月8日

「1会員新規会員1名確保運動」展開中です。お知り合いに入会希望の方がいる場合は、事務局にお問い合わせくださるよう申し添えください。※上記以外でも、入会ご希望の方には随時入会方法等のご案内をしております。

広報・宣伝活動について

11月から広告が載ったバスが走行中です!! その他、福島リビング新聞にも掲載されました。



編集後記

令和3年はコロナ禍の影響で巣ごもり状態の一年でした。幸いに自分はコロナ菌の影響はありませんでしたが、10月半ば過ぎから全国的に患者さんが減少し、先が明るいような感じがしております。シルバー人材センターでも密を防ぐためほとんどの行事をスルーして中止してしまいました。令和4年の干支は寅ですが寅の威をかりてでも新型コロナを早期に退散させ、早く日常が戻るようにお祈りしましょう。

自分のことで申し訳ありませんが、昨年秋に襖・障子班の方をお願いして我が家の襖を全部張り替えてもらいました。いい年越しができた喜んでおります。ありがとうございました。ぜひ、皆さんもお願いしてみてください。

(広報副委員長 片平 正)